

アップグレードガイド

Novell® ZENworks® 10 Configuration Management

10.1

2008 年 8 月 6 日

www.novell.com



保証と著作権

米国 Novell, Inc., およびノベル株式会社は、本書の内容または本書を使用した結果について、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また、本書の商品性、および特定の目的への適合性について、いかなる黙示の保証も否認し、排除します。また、本書の内容は予告なく変更されることがあります。

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、すべてのノベル製ソフトウェアについて、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。またノベル製ソフトウェアの商品性、および特定の目的への適合性について、いかなる黙示の保証も否認し、排除します。米国 Novell, Inc., およびノベル株式会社は、ノベル製ソフトウェアの内容を変更する権利を常に留保します。

本契約の下で提供される製品または技術情報はすべて、米国の輸出規制および他国の商法の制限を受けます。お客様は、すべての輸出規制を遵守して、製品の輸出、再輸出、または輸入に必要なすべての許可または等級を取得するものとします。お客様は、現在の米国の輸出除外リストに掲載されている企業、および米国の輸出管理規定で指定された輸出禁止国またはテロリスト国に本製品を輸出または再輸出しないものとします。お客様は、取引対象製品を、禁止されている核兵器、ミサイル、または生物化学兵器を最終目的として使用しないものとします。ノベル製ソフトウェアの輸出については、「[Novell International Trade Services \(http://www.novell.com/info/exports/\)](http://www.novell.com/info/exports/)」の Web ページをご参照ください。弊社は、お客様が必要な輸出承認を取得しなかったことに対し如何なる責任も負わないものとします。

Copyright © 2008 Novell, Inc. All rights reserved. 本ドキュメントの一部または全体を無断で複写・転載することは、その形態を問わず禁じます。

米国 Novell, Inc., およびノベル株式会社は、本書に記載されている製品内で実地されている技術に関連する知的所有権を有しています。これらの知的所有権は、「[Novell Legal Patents \(http://www.novell.com/company/legal/patents/\)](http://www.novell.com/company/legal/patents/)」の Web ページに記載されている 1 つ以上の米国特許、および米国ならびにその他の国における 1 つ以上の特許または出願中の特許を含む場合があります。

Novell, Inc.
404 Wyman Street, Suite 500
Waltham, MA 02451
U.S.A.
www.novell.com

オンラインマニュアル: 本製品とその他の Novell 製品の最新のオンラインマニュアルにアクセスするには、[Novell のマニュアルの Web ページ \(http://www.novell.com/documentation\)](http://www.novell.com/documentation) を参照してください。

Novell の商標

Novell の商標一覧については、「[商標とサービスの一覧 \(http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html\)](http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html)」を参照してください。

サードパーティ資料

サードパーティの商標は、それぞれの所有者に属します。

目次

このガイドについて	7
1 ZENworks 10 Configuration Management with SP1 (10.1) の新機能	9
1.1 新しいサーバプラットフォームのサポート	9
1.2 新しい管理対象デバイスプラットフォームのサポート	10
1.3 Oracle データベースのサポート	10
1.4 データベースマイグレーション	10
1.5 ZENworks Configuration Management のアンインストール	10
1.6 管理	11
1.7 ディスカバリ、展開、およびリタイア	11
1.8 イメージング	12
1.9 Personality Migration	13
1.10 レポート機能	13
1.11 ポリシー管理	13
1.12 リモート管理	14
1.13 マイグレーション	14
1.14 バンドルとアクション	14
1.15 Wake-on-LAN	15
1.16 ZENworks Adaptive Agent	15
2 ZENworks 10 Configuration Management with SP1 にアップグレードするための前 提条件	17
3 ZENworks 10 Configuration Management with SP1 へのアップグレード	19
3.1 アップグレードで行われる処理の理解	19
3.2 アップグレードで行われない処理の理解	20
3.3 アップグレードの準備	20
3.3.1 Windows を使用して ISO イメージから ZENworks インストール DVD を作成する	22
3.3.2 Linux を使用して ISO イメージから ZENworks インストール DVD を作成する	22
3.4 ZENworks 10 (v10.0.3) からのアップグレード	23
3.4.1 GUI を使用して Linux および Windows サーバをアップグレードする	24
3.4.2 コマンドラインを使用した Linux サーバのアップグレード	28
3.5 アップグレード後のタスク	31
3.5.1 BusinessObjects Enterprise サーバのアンインストール	31
3.5.2 Novell File Upload 拡張機能の再インストール	31
3.6 システム更新の手動インポートによる他の管理対象デバイスのアップグレード	32

このガイドについて

この『Novell ZENworks 10 Configuration Management with SP1 アップグレードガイド』には、Novell® ZENworks® 10 Configuration Management with SP1 (v10.1) で新しく強化された機能に関する情報、および Novell® ZENworks® 10 Configuration Management with SP1 (v10.1) へ正常にアップグレードする際に役立つ情報が記載されています。このガイドの情報は、以下のように構成されます。

- 9 ページの第 1 章「ZENworks 10 Configuration Management with SP1 (10.1) の新機能」
- 17 ページの第 2 章「ZENworks 10 Configuration Management with SP1 にアップグレードするための前提条件」
- 19 ページの第 3 章「ZENworks 10 Configuration Management with SP1 へのアップグレード」

対象読者

このガイドは、ZENworks 管理者を対象としています。

フィードバック

本マニュアルおよびこの製品に含まれているその他のマニュアルについて、皆様のご意見やご要望をお寄せください。オンラインマニュアルの各ページの下部にあるユーザコメント機能を使用するか www.novell.com/documentation/feedback.html にアクセスしてコメントを記入してください。

追加のマニュアル

ZENworks 10 Configuration Management には、製品について学習したり、製品を実装したりするために使用できるその他のマニュアル (PDF 形式および HTML 形式の両方) も用意されています。追加のマニュアルについては、[ZENworks 10 Configuration Management with SP1 \(v10.1\) マニュアル Web サイト \(http://www.novell.com/documentation/zcm10/index.html\)](http://www.novell.com/documentation/zcm10/index.html) を参照してください。

マニュアルの表記規則

Novell のマニュアルでは、「より大きい」記号 (>) を使用して手順内の操作と相互参照パス内の項目の順序を示します。

商標記号 (®、™ など) は、Novell の商標を示します。アスタリスク (*) は、サードパーティの商標を示します。

パス名の表記に円記号 (l) を使用するプラットフォームとスラッシュ (/) を使用するプラットフォームがありますが、このマニュアルでは円記号を使用します。Linux* など、スラッシュを必要とするプラットフォームを使用しているユーザは、ソフトウェアによる要求に従ってスラッシュを使用する必要があります。

ZENworks 10 Configuration Management with SP1 (10.1) の新機能

1

次の項では、Novell® ZENworks® 10 Configuration Management with SP1 (10.1) の新機能について説明します。

- ◆ 9 ページのセクション 1.1 「新しいサーバプラットフォームのサポート」
- ◆ 10 ページのセクション 1.2 「新しい管理対象デバイスプラットフォームのサポート」
- ◆ 10 ページのセクション 1.3 「Oracle データベースのサポート」
- ◆ 10 ページのセクション 1.4 「データベースマイグレーション」
- ◆ 10 ページのセクション 1.5 「ZENworks Configuration Management のアンインストール」
- ◆ 11 ページのセクション 1.6 「管理」
- ◆ 11 ページのセクション 1.7 「ディスカバリ、展開、およびリタイア」
- ◆ 12 ページのセクション 1.8 「イメージング」
- ◆ 13 ページのセクション 1.9 「Personality Migration」
- ◆ 13 ページのセクション 1.10 「レポート機能」
- ◆ 13 ページのセクション 1.11 「ポリシー管理」
- ◆ 14 ページのセクション 1.12 「リモート管理」
- ◆ 14 ページのセクション 1.13 「マイグレーション」
- ◆ 14 ページのセクション 1.14 「バンドルとアクション」
- ◆ 15 ページのセクション 1.15 「Wake-on-LAN」
- ◆ 15 ページのセクション 1.16 「ZENworks Adaptive Agent」

1.1 新しいサーバプラットフォームのサポート

ZENworks 10 Configuration Management では、次のサーバプラットフォームのサポートが追加されました。

- ◆ Windows Server 2008 Ent x86、x86-64
- ◆ Windows Server 2008 Std x86、x86-64

重要： Windows Server 2008 Core では .NET Framework がサポートされていないため、Windows Server 2008 Core はプライマリサーバプラットフォームとしてはサポートされません。

1.2 新しい管理対象デバイスプラットフォームのサポート

ZENworks 10 Configuration Management (10.1) では、次の管理対象デバイスプラットフォームのサポートが追加されました。

- Windows Embedded XP SP3
- Windows XP Professional SP3 x86
- Windows Vista SP1 x86、x86-64 (Business、Ultimate、および Enterprise バージョンのみ。Home バージョンはサポートされません)

1.3 Oracle データベースのサポート

ZENworks 10 Configuration Management (10.1) では、Oracle* 10g Standard - 10.2.0.1.0 のサポートが追加されました。

1.4 データベースマイグレーション

ZENworks 10 Configuration Management (10.1) のデータベースマイグレーションを使用すると、Sybase データベースのデータ (内部または外部) を Oracle データベースに移行できます。

詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「*Sybase SQL Anywhere のデータを Oracle データベースに移行*」を参照してください。

1.5 ZENworks Configuration Management のアンインストール

ZENworks 10 Configuration Management (10.1) では、アンインストールに関して次の新機能や強化された機能が提供されています。

- 管理対象デバイスをリタイアする。
- 管理対象デバイスを異なるゾーンに転送する。
- サテライトサーバを管理対象デバイスに降格させる。
- ZENworks Configuration Management のアンインストール後も ZENworks イメージをデバイス上に保持する。

詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management インストールガイド』の「ZENworks 10 Configuration Management のアンインストール」を参照してください。

1.6 管理

ZENworks 10 Configuration Management (10.1) では、管理に関して次の新機能や強化された機能が提供されています。

- ◆ サテライトサーバを管理する。サテライトサーバは ZENworks プライマリサーバが通常実行する特定の役割を実行することのできる管理対象デバイスです。サテライトサーバは、任意の管理対象デバイス (サーバまたはワークステーション) となることができます。サテライトサーバを設定するとき、実行する役割を指定します (イメージング、コレクション、またはコンテンツ)。
- ◆ 資格情報ポータル内で資格情報を管理する。資格情報ポータルには、特定のリソースにアクセスする際に認証が必要な ZENworks 10 Configuration Management のアクションやタスクが使用する資格情報が保存されます。
- ◆ システム更新機能によって ZENworks ソフトウェアの更新を実行する。システム更新機能を使用すると、タイムリーに Novell ZENworks 10 Configuration Management ソフトウェアのアップデートを入手できるだけでなく、アップデートのダウンロードをスケジュールすることもできます。
- ◆ 管理者に役割を割り当てる。特定の役割に固有の権限サブセットが含まれる役割を作成して、その役割を追加の管理者に割り当てることができます。デフォルト管理者に役割を割り当てることはできません。

詳細については、『*ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス*』を参照してください。

1.7 ディスカバリ、展開、およびリタイア

ZENworks 10 Configuration Management (10.1) では、ディスカバリ、展開、およびリタイアに関して次の新機能や強化された機能が提供されています。

- ◆ デバイスをリタイアおよびリタイア解除する。サーバまたはワークステーションデバイスをリタイアすると、選択したデバイスは ZENworks システムから削除されます。デバイスをリタイアしても、GUID は保持されます (反対に、デバイスを削除するとデバイスの GUID も削除されます)。結果として、すべてのインベントリ情報は保持されたままでアクセス可能ですが、すべてのポリシーおよびバンドルの割り当ては削除されます。後でデバイスのリタイアを解除する場合、割り当ては復元されます。
- ◆ 管理ゾーンレベルで設定されている Windows プロキシ設定を上書きすることで、Linux プライマリサーバからの各ディスカバリタスクと検出タスク用に Windows プロキシを設定する。
- ◆ 管理ゾーンレベルで設定されているディスカバリ技術設定を上書きすることで、各ディスカバリタスク用にディスカバリ技術を設定する。
- ◆ 検出されたデバイスの情報を編集する。
検出された情報が不十分な場合、[OS カテゴリ]、[OS プラットフォーム]、[検出されたタイプ]、[製造元] など、ディスカバリ情報の各フィールドを編集できるようになりました。
- ◆ ZENworks Adaptive Agent をデフォルトディレクトリ *%Programfiles%\Novell\ZENworks* 以外のディレクトリに展開する。ディレクトリパスは展開タスクの作成時に指定できます。

- ◆ デフォルトパッケージ以外の特定の展開パッケージを選択して展開する。新しく作成したカスタム展開パッケージをデバイスにダウンロードしてインストールするのではなく、展開によって管理対象デバイスにパッケージをプッシュできるようになりました。
- ◆ 展開タスクの作成時に管理対象デバイスの再起動をスケジュールする。
ZENworks Adaptive Agent のインストール後は、デバイスを再起動して Adaptive Agent が機能するようにする必要があります。既存の再起動オプション ([即時] および [手動]) に加え、ZENworks 10 Configuration Management (10.1) では、展開後の指定時刻にデバイスの再起動をスケジュールできるようになりました。
- ◆ 特定の IP アドレスの検出に使用されるすべてのディスカバリ技術の詳細を入手する。ディスカバリタスクの [結果] ページには、ディスカバリ技術の状態の詳細情報が表示されます。

詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management ディスカバリ、展開、およびリタイアメント』を参照してください。

1.8 イメージング

ZENworks 10 Configuration Management (10.1) では、イメージングに関して次の新機能や強化された機能が提供されています。

- ◆ イメージングの役割を持つサテライトサーバのサポート。

ZENworks サーバに登録されている管理対象デバイスをイメージングサテライトサーバに昇格させて、デバイスに対してイメージング処理を実行できます。ZENworks 10 Configuration Management (10.1) は、サードパーティ製のイメージングコンポーネントやアドオンイメージを、イメージングの役割を持つサテライトサーバ全体に複製する処理もサポートしています。

- ◆ SIDchanger による Windows Vista および Windows Server 2008 のサポート。

セキュリティ識別子 (SID) は、オブジェクトを識別するために、ログオンプロセス中に Windows ドメインコントローラによって割り当てられる固有の名前です。ZENworks SIDchanger は、Windows Vista および Windows Server 2008 管理対象デバイス上でイメージが復元されると自動的に実行されます。ZENworks SIDchanger は、Linux 環境である ZENworks イメージング配布パッケージ内で動作し、Linux 環境内で Windows SID を変更します。

- ◆ サードパーティのイメージングのサポート。

ZENworks 10 Configuration Management (10.1) は、Microsoft ImageX をサポートしています。Microsoft ImageX は WIM ファイル形式のイメージを取得します。現在のところ、WIM イメージングのブートメカニズムとしてサポートされているのは PXE のみです。WIM イメージは次のモードで取得できます。

- ◆ **自動モード** : 自動モードでは、ZENworks コントロールセンターを使用して作成したサードパーティのイメージングバンドルをデバイスに割り当てることができ、デバイスを次回再起動したときに、バンドルに設定されたイメージングタスクが実行されます。
- ◆ **メンテナンスモード** : メンテナンスモードでは、管理対象デバイス上で Novell ZENworks サードパーティのイメージングユーティリティを使用することで、イメージを取得してローカルデバイスやサーバに復元できます。このユーティリ

ティは WIM (Windows Imaging Format) を使用します。さらに、このユーティリティを使用して、デバイスのディスクパーティションを追加および変更することもできます。

詳細については、『*ZENworks 10 Configuration Management プレブートサービスおよびイメージングリファレンス*』を参照してください。

1.9 Personality Migration

ZENworks 10 Configuration Management (10.1) では、Personality Migration に関して次の新機能や強化された機能が提供されています。

- ◆ Vista 64 ビットデバイスのサポート
- ◆ Acrobat Reader 設定のマイグレーション
- ◆ 製品のローカライズ
- ◆ ユーザのパーソナリティを保存して複数の管理対象デバイスに適用

詳細については、『*ZENworks 10 Personality Migration リファレンス*』を参照してください。

1.10 レポート機能

ZENworks 10 Configuration Management (10.1) では、レポート機能に関して次の新機能や強化された機能が提供されています。

- ◆ 独立したメディアからのレポーティングサーバのインストール
ZENworks レポーティングサーバコンポーネントのインストールは ZENworks Configuration Management のインストールに統合されていません。ZENworks レポーティングサーバは、独立したメディアから、ZENworks Configuration Management サーバがインストールされているデバイスにインストールできます。
- ◆ レポーティングサーバのアンインストール
- ◆ Linux 上の ZENworks レポーティングサーバで、MS SQL 2005 データベースを使用するゾーンをレポート可能
- ◆ ZENworks レポーティングサーバで、Oracle 10g R1 データベースを使用するゾーンをレポート可能

詳細については、『*ZENworks 10 Configuration Management システムレポーティングリファレンス*』を参照してください。

1.11 ポリシー管理

ZENworks 10 Configuration Management (10.1) のポリシー管理では、Windows グループポリシーの過半数がサポートされています。

Windows グループポリシーの過半数は、管理用テンプレートの設定にのみ適用できます。セキュリティや Internet Explorer などのその他の設定は、以前に設定が有効だったポリシーから考慮されます。

詳細については、『*ZENworks 10 Configuration Management ポリシー管理リファレンス*』を参照してください。

1.12 リモート管理

ZENworks 10 Configuration Management (10.1) では、リモート管理に関して次の新機能や強化された機能が提供されています。

- ◆ Linux でのリモート管理ビューアのサポート
- ◆ パフォーマンス強化の特徴：
 - ◆ キャッシング
 - ◆ 帯域幅の動的な最適化

詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management リモート管理リファレンス』を参照してください。

1.13 マイグレーション

ZENworks 10 Configuration Management (10.1) では、マイグレーションに関して次の新機能や強化された機能が提供されています。

- ◆ アプリケーションの移行時にコンテンツサーバへアプリケーションをアップロードする
- ◆ MSI、または INI ファイルの編集、レジストリの編集、ファイルのコピー、ファイルの削除、スクリプト実行などの特定のアクションとして、アプリケーションの配布オプションを ZENworks 10 Configuration Management (10.1) へ移行する
- ◆ ユーザ関連付けを Active Directory へ移行する
- ◆ イメージング割り当てを移行する
- ◆ 設定したあらゆる組み合わせのシステム要件の移行のサポート
- ◆ プロキシが有効になっている場合、マイグレーションユーティリティをホストしているシステムで Web クライアントを設定する
- ◆ ソース eDirectory ツリーに一覧にする関連付けの範囲を指定する

詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management ZENworks マイグレーションガイド』を参照してください。

1.14 バンドルとアクション

ZENworks 10 Configuration Management (10.1) では、バンドルとアクションに関して次の新機能や強化された機能が提供されています。

- ◆ ディレクトリの作成 / 削除アクションを使用して、ディレクトリを作成または削除する
- ◆ Windows 実行可能ファイルの起動およびスクリプト実行アクションの成功コードを設定する
- ◆ ネットワーク上でテキストおよび INI ファイルを編集する
- ◆ 選択したコピーオプションに基づいてソースディレクトリから宛先ディレクトリへファイルをコピーする
- ◆ INI ファイルの編集の複数値キーに値を追加する
- ◆ INI ファイルの編集の複数値キーから 1 つの値を削除する

- ◆ ログインユーザは、昇格された権限を使用して MSI のインストールおよびネットワーク MSI のインストールアクションを実行できる
- ◆ [バンドルの概要] ページでバンドルの進行状況を表示 / 非表示にする
- ◆ ファイルのコピーアクションを使用してソースファイルのショートカットを作成する

詳細については、『*ZENworks 10 Configuration Management ソフトウェア配布リファレンス*』を参照してください。

1.15 Wake-on-LAN

ZENworks 10 Configuration Management (10.1) では、Wake-on-LAN に関して次の新機能や強化された機能が提供されています。

- ◆ プロキシサーバを使用する異なるサブネットにあり、電源が入っていないデバイスを起動する
- ◆ プロキシサーバを使用する異なるサブネットにあり、電源が入っていないデバイスを起動するための `zman` コマンド

電源が入っていないデバイスを起動する方法の詳細については、『*ZENworks 10 Configuration Management リモート管理リファレンス*』を参照してください。`Zman` コマンドの詳細については、『*ZENworks コマンドラインユーティリティ*』を参照してください。

1.16 ZENworks Adaptive Agent

ZENworks 10 Configuration Management (10.1) では、ZENworks Adaptive Agent に関して次の新機能や強化された機能が提供されています。

- ◆ 管理対象デバイスの通知領域にある ZENworks アイコンを非表示にする

ZENworks 10 Configuration Management with SP1 にアップグレードするための前提条件

2

旧バージョンの Novell® ZENworks® 10 Configuration Management から ZENworks 10 Configuration Management with SP1 (v10.1) にアップグレードするには、次の要件を満たしている必要があります。

- ◆ ZENworks 10 Configuration Management with SP1 (v10.1) の最小要件

詳細については、『*ZENworks 10 Configuration Management インストールガイド*』の「**最小要件**」を参照してください。

- ◆ ZENworks 10 Configuration Management (v10.0.3)

ZENworks 10 Configuration Management (バージョン 10.0.0、10.0.1、または 10.0.2) を使用している場合、これらのアップデートは累積的なので、システム更新機能を使用して直接バージョン 10.0.3 にアップデートできます。詳細については、『*ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス*』の「**ZENworks システム更新**」を参照してください。このリファレンスは、[Novell ZENworks 10 Configuration Management with SP1 マニュアル Web サイト \(http://www.novell.com/documentation/zcm10\)](http://www.novell.com/documentation/zcm10) の下部に PDF 形式でアーカイブされています。

ZENworks 10 Configuration Management with SP1 へのアップグレード

3

Novell® ZENworks® 10 Configuration Management with SP1 (v10.1) にアップグレードするには、次の項のタスクを実行します。

- 19 ページのセクション 3.1 「アップグレードで行われる処理の理解」
- 20 ページのセクション 3.2 「アップグレードで行われない処理の理解」
- 20 ページのセクション 3.3 「アップグレードの準備」
- 23 ページのセクション 3.4 「ZENworks 10 (v10.0.3) からのアップグレード」
- 31 ページのセクション 3.5 「アップグレード後のタスク」
- 32 ページのセクション 3.6 「システム更新の手動インポートによる他の管理対象デバイスのアップグレード」

3.1 アップグレードで行われる処理の理解

ZENworks 10 Configuration Management (v10.0.3) から ZENworks 10 Configuration Management with SP1 (v10.1) へは直接アップグレードできます。ただし、バージョン 10.0.0、10.0.1、または 10.0.2 からアップグレードするには、まず、システム更新機能を使用してこれらのバージョンをバージョン 10.0.3 にアップグレードする必要があります (『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「ZENworks システム更新」を参照してください。このリファレンスは、Novell ZENworks 10 Configuration Management マニュアル Web サイト (<http://www.novell.com/documentation/zcm10>) の下部に PDF 形式でアーカイブされています)。アップデートは累積的なので、ZENworks 10 Configuration Management with SP1 (v10.1) にアップグレードする準備として、バージョン 10.0.0、10.0.1、または 10.0.2 からバージョン 10.0.3 に直接アップデートできます。

アップグレードでは次の処理が行われます。

- デバイスをアップグレードする前に管理ゾーン全体をアップグレードする
- ZENworks データベースをアップグレードする (最初のサーバのアップグレード時に実行)
- 管理ゾーン内のプライマリサーバを個別にアップグレードする
- Configuration Management、Asset Management、Asset Inventory、および Patch Management を含む、プライマリサーバ上の ZENworks 10 Configuration Management コンポーネントをすべてアップグレードする
- その他すべての管理対象デバイスの ZENworks Adaptive Agent をシステム更新によってアップグレードする

3.2 アップグレードで行われない処理の理解

ZENworks 10 Configuration Management で作成したカスタムレポートは ZENworks 10 Configuration Management with SP1 (v10.1) に移行できません。これらのレポートは ZENworks レポーティングサーバで作成し直す必要があります。

3.3 アップグレードの準備

ZENworks 10 Configuration Management with SP1 (v10.1) にアップグレードする準備を整えるには、次の作業を行います。

- ◆ **ZENworks データベースのバックアップ** : 組み込み Sybase SQL Anywhere データベースを使用している場合は、zman database-backup コマンドを使用してデータベースをバックアップします。

コマンドラインから、「zman db c:\temp」と入力し、(拡張子 .db および .log を付けて) \temp ディレクトリにバックアップファイルを作成します。temp ディレクトリが存在しない場合は作成されます。データベース管理者のユーザ名とパスワードを知っておく必要があります。

コンテンツ (バンドルとポリシー) はバックアップされません。コンテンツは現在のファイルシステム上に存在しているため、アップグレードの影響は受けません。

詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「**組み込み Sybase SQL Anywhere データベースのバックアップ**」を参照してください。

別のタイプのデータベースを使用している場合は、データベース管理者に相談するか、データベース製品のマニュアルで詳細を確認してください。

- ◆ **アップグレードしないプライマリサーバ上の ZENworks サービスをすべて停止して ZENworks データベースとの接続をすべて閉じる** アップグレードしない ZENworks サーバ上の ZENworks サービスをすべて停止して、データベースのロックを解除します。

設定の役割が割り当てられたすべてのサーバ上のサービスを停止する必要があります。設定の役割を持つサーバを表示するには、ZENworks コントロールセンターで [設定] > [設定] ページの [インフラストラクチャ管理] > [最近接サーバのデフォルトルール] の順にクリックします。[設定サーバ] リストに一覧にされたサーバはすべて設定の役割を持っており、これらのサーバ上のサービスを停止する必要があります。

ZENworks サービスを停止する

- ◆ **Windows の場合** : 以下を実行します。
 1. Windows のデスクトップから、[スタート] メニュー > [設定] > [コントロールパネル] の順にクリックします。
 2. [管理ツール] > [サービス] の順にダブルクリックします。
 3. 次のサービスを停止します (最初に *Novell ZENworks Services Monitor* サービスを停止してください)。

Novell ZENworks Services Monitor
Novell ZENworks Server
Novell ZENworks Loader

CasaAuthTokenSvc
Novell Identity Store
Novell Proxy DHCP Service
Novell TFTP Service
Novell ZENworks Agent Service
Novell ZENworks Preboot Policy Service
Novell ZENworks Preboot Service
Novell ZENworks Remote Management powered by VNC

◆ **Linux の場合** : コンソールプロンプトで次のコマンドを入力します。

- ◆ /etc/init.d/novell-zenmntr stop
- ◆ /etc/init.d/novell-zenserver stop
- ◆ /etc/init.d/novell-zenloader stop
- ◆ /etc/init.d/casa_atstd stop
- ◆ /etc/init.d/micasad stop
- ◆ /etc/init.d/novell-pbserv stop
- ◆ /etc/init.d/novell-proxydhcp stop
- ◆ /etc/init.d/novell-tftp stop
- ◆ /etc/init.d/novell-zenagent stop
- ◆ /etc/init.d/novell-zmgprebootpolicy stop

次のサービスは停止しないでください。

/etc/init.d/novell-zmd

ZENworks サービスが停止されたことを確認する

1. コマンドプロンプトを開きます ([スタート] > [ファイル名を指定して実行] > 「cmd」)。
 2. dbisql sybase ユーティリティを実行します (Windows の場合は ZENWORKS_HOME/share/ASA/win32 から、Linux の場合は /opt/novell/zenworks/share/sybase/bin32 から)。
 3. zman dgc コマンドを実行して受け取った資格情報を使用して、dbisql ユーティリティでデータベースに対して認証します。
 4. [SQL ステートメント] ウィンドウで次の SQL ステートメントを実行します。
select * from sa_conn_info();
 5. まだ開いているデータベース接続がある場合は、その他すべてのプライマリサーバーサービスがシャットダウンされてることを確認し、データベースを再起動して不要なテーブルロックを解除しなければならないことがあります。
- ◆ **データベースサービスがアクティブであることを確認する** データベースをホストしているサーバが、データベースサービスがアクティブな状態で実行されていることを確認します。
- ◆ **Windows の場合** : 以下を実行します。
1. Windows のデスクトップから、[スタート] メニュー > [設定] > [コントロールパネル] の順にクリックします。

2. [管理ツール] > [サービス] の順にダブルクリックします。
3. Novell ZENworks Embedded Datastore サービスの状態が [開始] である必要があります。

- ◆ **Linux の場合** : コマンドプロンプトで「/etc/init.d/sybase-asa status」と入力します。
- ◆ **(オプション)アップグレードするプライマリサーバ上のZENworksサービスをすべて停止する** アップグレード中に、アップグレードプログラムでこの処理を実行することができます。この処理を手動で行う場合は、「ZENworks サービスの停止」の情報を参照してください。

ZENworks アップグレードソフトウェアを ISO イメージのダウンロードとして入手した場合は、次のいずれかを行ってアップグレード DVD を作成します。

- ◆ 22 ページのセクション 3.3.1「Windows を使用して ISO イメージから ZENworks インストール DVD を作成する」
- ◆ 22 ページのセクション 3.3.2「Linux を使用して ISO イメージから ZENworks インストール DVD を作成する」

3.3.1 Windows を使用して ISO イメージから ZENworks インストール DVD を作成する

- 1 ZENworks 10 Configuration Management with SP1 (v10.1) アップグレード ISO イメージを [Novell Web サイト \(http://www.novell.com/\)](http://www.novell.com/) からダウンロードして、Windows デバイスの一時保管場所にコピーします。
- 2 ISO イメージを DVD に記録します。

3.3.2 Linux を使用して ISO イメージから ZENworks インストール DVD を作成する

オプションで、DVD に記録する代わりに ISO マウントポイントからアップグレードプログラムを実行することもできます。

DVD を作成する

- 1 ZENworks 10 Configuration Management with SP1 (v10.1) アップグレード ISO イメージを [Novell Web サイト \(http://www.novell.com/\)](http://www.novell.com/) からダウンロードして、Linux デバイスの一時保管場所にコピーします。
- 2 ISO イメージを DVD に記録します。

注 : DVD を作成する代わりに、次のコマンドを使用して ISO イメージをマウントすることもできます。

```
mount -o loop /tempfolderpath/isoimagename.iso mountpoint
```

tempfolderpath を一時フォルダへのパスと置き換えて、*isoimagename* を ZENworks ISO ファイル名と置き換え、*mountpoint* をイメージをマウントするファイルシステムの場所へのパスと置き換えます。*mountpoint* によって指定されたパスはすでに存在している必要があります。

例を次に示します。

```
mount -o loop /zcm101/ZCM101upgr.iso /zcm101/upgrade
```

3.4 ZENworks 10 (v10.0.3) からのアップグレード

次のアップグレードプロセスに従う必要があります。

1. ZENworks データベースをホストしているプライマリサーバ上のデータベースサービスを除き、すべてのプライマリサーバ上の Novell ZENworks サービスを停止します (20 ページのセクション 3.3 「アップグレードの準備」を参照してください。)

最初のサーバをアップグレードする際に、管理ゾーン内にあるプライマリサーバ以外の管理対象デバイスがすべてアップグレードされるようセットアップされます。これはシステム更新機能を使用して実行されます。システム更新機能はインストール後の手順中に起動されます。システム更新でアップデートされる他の管理対象デバイスが、まだアップデートされていないプライマリサーバに接続しないようにするには、管理ゾーン内にあるすべてのプライマリサーバの ZENworks サービスが停止されている必要があります。

2. 管理ゾーンの設定時に作成されたプライマリサーバをアップグレードします。
ZENworks データベースをホストしているかどうかにかかわらず、データベースサービスがアクティブな状態でこの最初のサーバが実行されている限り、データベースはこの最初のプライマリサーバのアップグレード時にアップグレードされます。
3. 管理ゾーン内のその他すべてのプライマリサーバをアップグレードします (他のサーバは関係ありません)。

各プライマリサーバがアップグレードされると、サーバの ZENworks サービスが開始されます。最初のプライマリサーバをアップグレードすると ZENworks データベースもアップグレードされるため、アップグレードしたその他のプライマリサーバも、アップグレード済みデータベースおよび他のアップグレード済み管理対象デバイスと通信できます。

4. プライマリサーバはすべて管理対象デバイスより先にアップグレードします。
アップグレードされていないプライマリサーバのサービスはアップグレードが完了するまで停止しておかなければならないため、管理対象デバイスをアップグレードする前にすべてのプライマリサーバをアップグレードすることをお勧めします。最近接サーバルールのため、管理対象デバイスをアップグレードする前にプライマリサーバを 1 つアップグレードしただけでも、管理対象デバイスはそのプライマリサーバへの接続を開始してしまいます。システム内の管理対象デバイスの数によっては、このためにパフォーマンス上の問題が発生する可能性があります。

アップグレードには、グラフィックユーザインタフェース (GUI) プログラムまたはコマンドライン (Linux のみ) を使用できます。

- ◆ 24 ページのセクション 3.4.1 「GUI を使用して Linux および Windows サーバをアップグレードする」
- ◆ 28 ページのセクション 3.4.2 「コマンドラインを使用した Linux サーバのアップグレード」

3.4.1 GUI を使用して Linux および Windows サーバをアップグレードする

- 1 アップグレードするプライマリサーバを選択します。

最初に、管理ゾーンを作成する際に使用したプライマリサーバをアップグレードします。続いて、アップグレードするそれ以外のプライマリサーバを任意の順序で選択します。

重要：アップグレードする最初のプライマリサーバで ZENworks データベースをホストしていない場合は、データベースをホストしているサーバが、データベースサービスがアクティブな状態で実行されていて、この最初のサーバのアップグレードプロセス中に他のサーバが接続しないようにしてください。

- 2 ZENworks 10 Configuration Management with SP1 (v10.1) アップグレードプログラムを起動するために、DOS ウィンドウまたは Linux ターミナルを開いてアップグレードメディアのルートをブラウズし、適切なコマンドを入力します。

- ◆ **Linux:**

```
setup.sh
```

- ◆ **Windows:**

```
setup.exe
```

新規インストールが必要か、それとも現在インストールされているバージョン (存在する場合) をアップグレードすればよいかが、インストールプログラムによって自動的に判断されます。バージョン 10.1 にアップグレードするには、バージョン 10.0.3 がインストールされている必要があります。

- 3 アップグレード中に、知っておく必要があるアップグレードデータの詳細について、[25 ページの表 3-1 § 「インストール情報」](#) の情報を参照します。

GUI アップグレードを使用している場合は、[ヘルプ] ボタンをクリックして同様の情報を参照することもできます。

- 4 アップグレードが完了して ZENworks サービスが再開されたら、次のいずれかを行って、ZENworks 10 Configuration Management with SP1 (v10.1) が実行されていることを確認します。

- ◆ **ZENworks コントロールセンターの実行：**

ZENworks コントロールセンターが自動的に起動しなかった場合は、次の URL を使用して Web ブラウザで ZENworks コントロールセンターを開きます。

```
https:// DNS_name_or_IP_address_of_Primary_Server/zenworks
```

これは ZENworks をインストールしたばかりのサーバか、または管理対象ワークステーションから実行できます。

- ◆ **GUI を使用して Windows サービスをチェックする：**

サーバで、[スタート] をクリックし、[管理ツール]、[サービス] の順に選択して [Novell ZENworks Loader] および [Novell ZENworks Server] サービスの状態を確認します。

実行されていない場合は、ZENworks サービスを開始します。[Novell ZENworks Server] サービスを右クリックして [開始] を選択し、[Novell ZENworks Loader] サービスを右クリックして [開始] をクリックします。

または、[Novell ZENworks Server] の [再開] オプションを使用して、関連サービスをすべて停止することもできます。これにより、[Novell ZENworks Loader] を含む各サービスがいったん停止され、正しい順序で開始されます。

- ◆ 設定コマンドを使用して Linux サービスをチェックする：

サーバで次のコマンドを実行します。

```
/opt/novell/zenworks/bin/novell-zenworks-configure -c SystemStatus
```

これによりすべての ZENworks サービスおよびその状態が一覧表示されます。

サービスを実行するには、次のコマンドを実行してください。

```
/opt/novell/zenworks/bin/novell-zenworks-configure -c Start
```

- ◆ 特定のサービスコマンドを使用して Linux サービスをチェックする：

サーバで次のコマンドを実行します。

```
/etc/init.d/novell-zenserver status
```

```
/etc/init.d/novell-zenloader status
```

サービスが実行されていない場合は、次のコマンドを実行して ZENworks サービスを開始します。

```
/etc/init.d/novell-zenserver start
```

```
/etc/init.d/novell-zenloader start
```

- 5 別のプライマリサーバをアップグレードするには、**ステップ 1** 以降を繰り返します。

重要：管理ゾーン内のプライマリサーバがすべてアップグレードされるまで、これらのステップを繰り返してください。システム更新によって ZENworks Adaptive Agents がアップグレードされた他の管理デバイスが、まだアップグレードしていないプライマリサーバに接続できないようにしてください。

次に、必要なアップグレード情報をインストールフローの順番に示します。

表 3-1 インストール情報

インストール情報	説明
使用許諾契約	使用許諾契約に同意しないと、アップグレードプログラムは終了します。
最初のサーバアップグレード	これが管理ゾーン内にある、アップグレードする最初のサーバか、それとも別のサーバかを選択します。 最初のサーバの場合は、ZENworks データベースも同時にアップグレードされます。
アップグレード手順	続行する前に、これらの手順に一覧にされた要件をすべて満たしていることを確認してください。
ゾーン管理者情報	管理ゾーン管理者のログイン名とパスワードを指定します。
ライセンスキー	ZENworks 10 Configuration Management with SP1 (v10.1) アップグレードの購入時に入手したライセンスキーを指定します。

インストール情報	説明
ZENworks サービスの停止中	データベースサービスを除き、アップグレードするサーバ上の ZENworks サービスをすべて停止する必要があります。アップグレードプログラムを起動する前にこれらのサービスを手動で停止した場合でも、 [はい、実行中のサービスを停止します] をクリックすれば、全サービスを確実に停止できます。
アップグレード前の概要	<p>この時点までに入力した情報を変更するには、[戻る] をクリックします。</p> <p>[インストール] をクリックすると、データベーススキーマのアップデート後は変更を元に戻すことはできないことを通知する警告が表示されます。[はい] をクリックしてアップグレードを続行するか、または [キャンセル] をクリックしてアップグレードプロセスを中止し、プログラムを終了します。</p> <p>この概要には次のフィールドが表示されます。</p> <p>ZENworks ホームディレクトリ：アップグレードする ZENworks ソフトウェアがインストールされているプライマリサーバ上の場所が表示されます。</p> <p>データベースのアップグレード：ZENworks データベースがアップグレードされるかどうかを示します。アップグレードが必要かどうかを確認するため、自動的にデータベースの状態がチェックされます。</p> <p>ZENworks 10 Configuration Management ライセンス：アップグレードウィザードの前のページで入力したライセンス番号が表示されます。</p> <p>ZENworks 10 Asset Management ライセンス：該当する場合、アップグレードウィザードの前のページで入力したライセンス番号が表示されます。</p> <p>Asset Inventory for Unix/Linux ライセンス：該当する場合、アップグレードウィザードの前のページで入力したライセンス番号が表示されます。</p>
アップグレードプロセス	<p>ハードウェアの能力によっては、アップグレードプロセスには数分かかります。</p> <p>アップグレード中に [キャンセル] をクリックすると中止できます。中止した場合、その時点までにアップグレードされたファイルは変更されたまま残ります。キャンセル後の対応の詳細については、Novell お問い合わせください。</p>
アップグレードエラー	<p>アップグレード中にエラーが発生した場合は、このページが表示され、エラーが発生したことを示します。この場合、アップグレードを続行することも、中止することもできます。</p> <p>アップグレードを中止するか、それとも続行するかを決定するには、[ログ表示] をクリックして、エラーリストが記録されたログファイルを確認し、中止するほど重大なインストールエラーかどうかを判断します。続行するよう選択した場合は、アップグレード完了後に、ログに記録されている問題を解決してください。</p>

アップグレード後アクション ソフトウェアアップグレードが正常に完了した後に実行するアクションを選択するオプションが表示されます。

次に示すオプションがページに表示されます。いくつかの項目はデフォルトで選択されています。オプションを選択したり選択解除したりするには、チェックボックスをクリックします。次に [次へ] をクリックして進みます。

以下の利用可能なアクションから選択します。

- ◆ **システム更新展開エンジンの実行** : バックグラウンドでシステム更新プロセスを起動して、ZENworks Adaptive Agent アップデートを ZENworks サーバにダウンロードします。アップデートのダウンロード後、Agent アップデートを管理対象デバイスに展開する必要があります。詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「ZENworks システムアップデート」を参照してください。

このアクションを選択しなくても、手動でアップデートをインポートすることができます。詳細については、32 ページのセクション 3.6 「システム更新の手動インポートによる他の管理対象デバイスのアップグレード」を参照してください。

インベントリのみモジュールは、Adaptive Agent の展開要件を満たしていない Windows デバイス、Linux デバイス、NetWare® デバイス、または Macintosh OS X デバイスからインベントリ情報を収集する際に使用されますが、アップグレードプロセスではアップグレードされません。詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management ディスカバリ、展開、およびリタイアリファレンス』の「インベントリのみモジュールの展開」を参照してください。

- ◆ **ZENworks システムステータスユーティリティの実行** : アップグレードプログラムを閉じる前に、ZENworks サービスハートビートチェックを起動します。結果はインストールログでポストされます。
- ◆ **ZENworks コントロールセンターの実行** : (GUI インストールの場合のみ) ZENworks サービスの再開後 (Windows のみ)、または Linux サーバの場合はアップグレード直後に、デフォルトの Web ブラウザで自動的に ZENworks コントロールセンターを開きます。GUI を使用しない Linux アップグレードの場合、ZENworks コントロールセンターを実行するには GUI 対応デバイスを使用する必要があります。
- ◆ **デスクトップにある ZENworks コントロールセンターにショートカットを置きます** : (Windows のみ) デスクトップにショートカットを配置します。
- ◆ **[スタートメニュー] に ZENworks コントロールセンターへのショートカットを配置する** : (Windows のみ) スタートメニューにショートカットを配置します。
- ◆ **Readme ファイルを表示する** : GUI インストールでは、再起動後 (Windows のみ)、または手動で再起動を選択した場合あるいは Linux サーバにインストールした場合はただちに、ZENworks 10 Configuration Management with SP1 (v10.1) Readme をデフォルトブラウザで開きます。
- ◆ **インストールログを表示する** : 再起動した後、または手動で再起動を選択した場合には即時にデフォルトの XML ビューア (GUI インストール) にインストールログが表示されます。

インストール情報	説明
ZENworks Adaptive Agents のアップグレード用のシステム更新場所	<p>アップグレードメディアが DVD-ROM ドライブに挿入されている場合 (Linux ではマウントされている場合)、インストーラは自動的にメディア上でアップデートの場所を検索します。[次へ] をクリックします。</p> <p>各管理対象デバイス上で ZENworks Adaptive Agent がシステム更新によってアップグレードされます (プライマリサーバを除く)。</p> <p>詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「ZENworks システムアップデート」を参照してください。</p>
アップグレード完了	<p>あらかじめ選択しておいたアクションが実行されます。次のアクションが含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ ZENworks データベースをアップグレードする (最初のプライマリサーバのアップグレード時に実行) ◆ プライマリサーバにインストールされている ZENworks コンポーネントをすべてアップグレードする ◆ ZENworks 10 Configuration Management with SP1 (v10.1) 用の最新のシステム更新を適用する ◆ システム更新を使用して、その他すべての管理対象デバイスの ZENworks Adaptive Agent をアップグレードする ◆ (Windows のみ) ZENworks Adaptive Agent アイコンを通知エリアに作成する (システムトレイ) ◆ (Windows のみ) ZENworks コントロールセンターアイコンをデスクトップまたは [スタート] メニューに作成する ◆ Readme を表示する ◆ インストールログファイルを表示する ◆ サーバで ZENworks コントロールセンターを開く

3.4.2 コマンドラインを使用した Linux サーバのアップグレード

コマンドラインの場合は、「back」と入力して < Enter > を押すと、前のインストールオプションに戻って変更することができます。

1 アップグレードするプライマリサーバを選択します。

最初に、管理ゾーンを作成する際に使用したプライマリサーバをアップグレードします。続いて、アップグレードするそれ以外のプライマリサーバを任意の順序で選択します。

重要: アップグレードする最初のプライマリサーバで ZENworks データベースをホストしていない場合は、データベースをホストしているサーバが、データベースサービスがアクティブな状態で実行されていて、この最初のサーバのアップグレードプロセス中に他のサーバが接続しないようにしてください。

- 2 ZENworks 10 Configuration Management with SP1 (v10.1) アップグレードプログラムを起動して Linux ターミナルを開き、アップグレードメディアのルートブラウズして、次のコマンドを入力します。

```
setup.sh --console
```

または

```
setup.sh -e
```

- 3 指示をよく読み、<Enter> を押して続行します。
- 4 使用許諾契約に同意する場合は、「1」と入力して <Enter> を押します。
デフォルトの言語は英語です。使用する言語に対応する数字を選択して続行します。
同意しない場合、アップグレードは終了します。
- 5 次のいずれかの操作を行います。
- 管理ゾーンの最初のサーバをインストールするには、<Enter> を押してデフォルト (1) を選択します。
 - 別のサーバにインストールするには、「2」と入力し、<Enter> を押して変更を確認し、もう一度 <Enter> を押して続行します。
- 6 (アップグレード済みの最初のプライマリサーバのみ) アップグレード手順を確認し、続行する準備ができたなら <Enter> を押します。
- 7 [ゾーンの管理ユーザの名前を入力します。] という行で、<Enter> を押してデフォルト値 (Administrator) をそのまま使用するか、または管理者名を指定して <Enter> を押します。
- 8 管理者のパスワードを指定して、<Enter> を押します。
- 9 (アップグレード済みの最初のプライマリサーバのみ) アップグレード用に入手したライセンスキーを指定して、ライセンスキーごとに <Enter> を押します。
ライセンスキーを指定しない場合は、単に <Enter> を押して続行します。
- 10 このサーバ上のサービスを ZENworks で自動的に停止するには、<Enter> を押します。それ以外の場合は、「2」と入力して <Enter> を押します。
アップグレードの準備として、管理ゾーン内にあるすべてのプライマリサーバ上のサービスがすでに停止されている必要があります。アップグレードプログラムを起動する前にこれらのサービスを手動で停止した場合でも、[1] を選択すれば、全サービスを確実に停止できます。
アップグレード中は、データベースサービス以外の ZENworks サービスは実行できません。
- 11 アップグレード前の概要をよく読んで、<Enter> を押して続行します。
管理ゾーン内の他のプライマリサーバをアップグレードする場合は、このステップで <Enter> を押すとアップグレードが始まります。
- 12 (アップグレード済みの最初のプライマリサーバのみ) 続行して ZENworks データベースをアップグレードするには、<Enter> を押します。ZENworks データベースをアップグレードしない場合は、「n」と入力して <Enter> を押し、プログラムを終了します。
インストールプロセスが始まります。ハードウェアの能力によっては、数分間かかります。インストール中は進行状況インジケータが表示されます。

13 [インストール後のオプション] が表示されたら、Linux ZENworks サーバで次のオプションを使用できるようになります。

- ◆ [1] システム更新の実行：バックグラウンドでシステム更新プロセスを起動して、管理ゾーン内にある管理対象デバイス上の ZENworks Adaptive Agent をアップデートします。システム更新では、アップグレードメディアで提供されている情報が使用されます。パスが見つからない場合は、ウィザードページが表示され、update.xml ファイルをブラウズできます。詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「ZENworks システムアップデート」を参照してください。
- ◆ [2] ZENworks ハートビートチェックの実行：アップグレードプログラムを閉じる前に、ZENworks サービスハートビートチェックを起動します。結果はインストールログでポストされます。
- ◆ [3] ZENworks コントロールセンターの実行：ZENworks コントロールセンターを自動的にデフォルトの Web ブラウザで開きます。ただし、コマンドラインから Linux をアップグレードした場合、ZENworks コントロールセンターを実行するには、サーバが GUI 対応である必要があります。
- ◆ [4] Readme ファイルの表示：Readme の URL が一覧にされます。
- ◆ [5] インストールログの表示：ターミナル画面に情報が一覧にされます。

次のいずれかの操作を行います。

- ◆ デフォルトの選択内容をそのまま使用して続行するには、<Enter> を押します。
- ◆ 選択部分の状態を反転するには、変更する各項目の番号をカンマで区切って入力し、<Enter> を押して変更を有効にして続行します。

選択した項目が実行され、アップグレードが完了します。

14 [インストールが完了しました] と表示されたら、<Enter> を押して続行します。

エラーが示されている場合は、インストールログを参照してください。インストールログは、\novell\zenworks\logs (Windows) または /Novell/ZENworks/logs (Linux) にあります。

15 [ZENworks システムステータス] と表示されたら、<Enter> を押して終了します。

これは、アップグレードが正常に完了した場合に表示されます。

重要： コマンドラインによるアップグレード後に現在のセッションで zman コマンドを実行する予定の場合は、新しくアップグレードされた /opt/novell/zenworks/bin ディレクトリをセッションのパスに反映させる必要があります。そのためには、セッションからいったんログアウトしてログインし直すことで、PATH 変数をリセットします。

16 次の操作を実行して、ZENworks 10 Configuration Management with SP1 (v10.1) が実行されていることを確認します。

- ◆ ZENworks コントロールセンターの実行

ZENworks コントロールセンターが自動的に起動しなかった場合は、次の URL を使用して Web ブラウザで ZENworks コントロールセンターを開きます。

`https:// DNS_name_or_IP_address_of_Primary_Server/zenworks`

これは、ZENworks をインストールしたサーバ上でも、管理対象デバイス上でも、サーバにアクセス可能ななどのデバイス上でも実行できます。

- ◆ 設定コマンドを使用して Linux サービスをチェックする

サーバで次のコマンドを実行します。

```
/opt/novell/zenworks/bin/novell-zenworks-configure -c SystemStatus
```

これによりすべての ZENworks サービスおよびその状態が一覧表示されます。

サービスを実行するには、次のコマンドを実行してください。

```
/opt/novell/zenworks/bin/novell-zenworks-configure -c Start
```

- ◆ 特定のサービスコマンドを使用して Linux サービスをチェックする

サーバで次のコマンドを実行します。

```
/etc/init.d/novell-zenserver status
```

```
/etc/init.d/novell-zenloader status
```

サービスが実行されていない場合は、次のコマンドを実行して ZENworks サービスを開始します。

```
/etc/init.d/novell-zenserver start
```

```
/etc/init.d/novell-zenloader start
```

17 別のプライマリサーバをアップグレードするには、**ステップ 1**以降を繰り返します。

3.5 アップグレード後のタスク

次の手順を実行します。

- ◆ 31 ページのセクション 3.5.1 「BusinessObjects Enterprise サーバのアンインストール」
- ◆ 31 ページのセクション 3.5.2 「Novell File Upload 拡張機能の再インストール」

3.5.1 BusinessObjects Enterprise サーバのアンインストール

ZENworks 10 Configuration Management プライマリサーバに BusinessObjects Enterprise サーバがインストールされている場合、サーバを ZENworks 10 Configuration Management with SP1 にアップグレードすると、BusinessObjects Enterprise は動作しなくなります。

ZENworks レポートを作成および生成するには、BusinessObjects Enterprise サーバがインストールされていないプライマリサーバに ZENworks レポーティングサーバをインストールする必要があります。詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management レポーティングサーバインストールガイド』を参照してください。

BusinessObjects Enterprise サーバをアンインストールするには、BusinessObjects Enterprise のマニュアルを参照してください。

3.5.2 Novell File Upload 拡張機能の再インストール

ZENworks コントロールセンターが実行されているサーバにすでに ZENworks 10 Configuration Management File Upload 拡張機能がインストールされている場合は、サードパーティのイメージング処理を実行する前に、次の作業を行う必要があります。

- 1 Novell File Upload 拡張機能をアンインストールします。

Internet Explorer の場合 : 次の手順を実行します。

1. Internet Explorer* ブラウザのインスタンスをすべて閉じます。
2. ブラウザの新しいインスタンスを起動します。
3. [ツール] > [インターネットオプション] > [全般] の順にクリックします。
4. [閲覧の履歴] パネルで [設定] をクリックします。
5. [インターネット一時ファイルと履歴の設定] ウィンドウで [オブジェクトの表示] をクリックします。
6. [Downloaded Program Files] ウィンドウで [NFileUpload Class] を右クリックし、[削除] をクリックします。

Firefox の場合 : 次の手順を実行します。

1. [ツール] > [アドオン] の順にクリックします。
 2. [アドオン] ウィンドウで [Novell ZENworks File Upload Extension 10.1.0] をクリックして、[削除] をクリックします。
 3. Firefox ブラウザを閉じます。
 4. *Firefox Install directory*/plugins ディレクトリを探し、npzenworks.dll および nsINZENScriptablePlugin.xpt ファイルをディレクトリから削除します。
 5. Firefox を再起動します。
- 2 ZENworks 10 Configuration Management (10.1) File Upload 拡張機能をインストールします。次回 ZENworks コントロールセンターを使用してファイルパスをブラウズしたり、ファイルをアップロードしたりすると、最新の Novell File Upload Extension をインストールするようプロンプトが表示されます。プロンプトに従って Novell File Upload 拡張機能をインストールします。

3.6 システム更新の手動インポートによる他の管理対象デバイスのアップグレード

ZENworks サーバをアップグレードする際に、他の管理対象デバイスのアップグレードに必要なシステム更新をインポートするよう選択しなかった場合 ([システム更新展開エンジンの実行] オプション。27 ページの「アップグレード後アクション」を参照してください)、次のコマンドを実行してインポートできます。

- ♦ **Windows:** `installation_location\novell\zenworks\bin\novell-zenworks-configure -c ImportUpdate`
- ♦ **Linux:** `/opt/novell/zenworks/bin/novell-zenworks-configure -c ImportUpdate`